

ご かん の げ
五 観 之 偈

ひと こう たしょう はか か らいしょ はか
一つには功の多少を計り、彼の来処を量る。

ふた おの とっこう ぜんけつ はか く おう
二つには己が徳行の全欠を忖って供に応ず。

みっ しん ふせ かとんとう はな しゅう
三つには心を防ぎ過貪等を離るるを宗とす。

よっ まき りょうやく こと ぎょうこ りょう ため
四つには正に良薬を事とするは形枯を療ぜんが為なり。

いつ じょうどう ため ゆえ いま こ じき う
五つには成道の為の故に、今此の食を受く。